令和4年度末　鉄軌道駅における駅の段差解消への対応状況について

令和5年3月31日現在

事業者名	総駅数	平均利用者数が3千人/日以上の駅数 A	平均利用者数が3千人/日以上及び重点整備地区内の生活関連施設に位置づけられた平均利用者数が2千人/日以上3千人/日未満の駅数 B	公共交通移動等円滑化基準第4条及び第18条の2に適合している設備により段差が解消されている駅※		
					うち平均利用者数が3千人/日以上及び重点整備地区内の生活関連施設に位置づけられた平均利用者数が2千人/日以上3千人/日未満の駅数 C	平均利用者数が3千人/日以上及び重点整備地区内の生活関連施設に位置づけられた平均利用者数が2千人/日以上3千人/日未満の駅に対する割合(%) (C/B)*100
JR東日本	668	423	426	479	408	95.8%
JR東海	38	5	5	12	5	100.0%
JR旅客会社2社　小計	706	428	431	491	413	95.8%
東武鉄道	201	126	130	145	128	98.5%
西武鉄道	91	80	80	85	80	100.0%
京成電鉄	65	58	58	60	58	100.0%
京王電鉄	69	68	68	68	67	98.5%
小田急電鉄	70	70	70	69	69	98.6%
東急電鉄	88	87	87	86	85	97.7%
京浜急行電鉄	72	72	72	72	72	100.0%
相模鉄道	27	26	26	26	25	96.2%
大手民鉄8社　小計	683	587	591	611	584	98.8%
東京都交通局	94	94	94	87	87	92.6%
東京地下鉄	139	139	139	139	139	100.0%
横浜市交通局	40	40	40	40	40	100.0%
地下鉄3社局　小計	273	273	273	266	266	97.4%
JR、大手民鉄、地下鉄　小計	1,662	1,288	1,295	1,368	1,263	97.5%
中小民鉄、路面電車等　小計	532	220	222	306	181	81.5%
鉄軌道全体　合計	2,194	1,508	1,517	1,674	1,444	95.2%
（参考）令和3年度末の数値	2,191	1,475	1,482	1,663	1,413	95.3%

※．「公共交通移動等円滑化基準第4条及び第18条の2に適合している設備により段差が解消されている駅」とは基準に適合している設備（開閉とびらに窓があり、かご内に手すり等が設置されているエレベーターなど）により、乗降場ごとに、段差が解消された経路を1以上確保している駅のうち、自社内での乗継経路に関する段差解消や主たる経路とバリアフリールートの経路の長さの差ができる限り小さくされている等の基準に適合している駅をいう。

注）1．新幹線が乗り入れている在来線の駅であって、在来線の駅を管理する事業者が新幹線の駅も管理する場合、当該在来線の駅に新幹線の駅も含み、全体で1駅として計上している。新幹線の駅と在来線の駅を別々の事業者が管理する場合は、別駅として計上している。

注）2．2以上の事業者の路線が乗り入れる駅であって、事業者間の乗換改札口が設けられておらず、改札内で相互乗換えができる場合は、全ての事業者の駅を含めて全体で1駅として計上している。この場合、代表して1事業者に当該駅を計上している。